

2020年4月1日

## 「薬物乱用防止」に関する愛知県との連携・協力協定の継続について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」）は、2018年5月に愛知県（知事：大村 秀章）と「愛知県の薬物乱用防止協力に関する協定書」を締結<sup>\*1</sup>し、薬物乱用防止の啓発、医薬品の適正使用の啓発を中心に連携して活動を進めてまいりました。この度、本協定と、それに基づいた活動を更に1年間更新することになりましたので、お知らせいたします。

なお、過去2年間の活動実績は、「薬物乱用防止の啓発事業、医薬品の適正使用の啓発事業」活動実績に後述しております。

愛知県と塩野義製薬はお互いの強みを活かしつつ相互の連携を図りながら協力し、下記の活動を2020年度の事業として実施いたします。

### （1）薬物乱用防止啓発活動

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の一環として、啓発活動を通じた資材の配布、違法薬物や薬物乱用についての正しい理解促進を図る活動

### （2）県民講座

薬物乱用・依存を未然に防ぎ、がんの痛みで苦しむ患者さまに医療用麻薬を適正に使用いただくための、県民の方を対象とした講演会の実施

### （3）医療従事者対象の講演会

地域医療が進む中、より安全・安心な医療環境を目指し、医療用麻薬の適正使用および管理上の注意点などの情報をお届けするための、医療従事者を対象とした講演会の実施

米国におけるオピオイドライセンスなど薬物乱用問題は全世界的な広がりを見せ、人類が抱える最も深刻な社会問題の一つとなっています。一方で、医療用麻薬は従来から主としてがん性疼痛などの高度な疼痛治療において重要な役割を果たしており、日本においては、特に地域包括ケアの進展により在宅医療の重要性が近年高まっていることから、医療用麻薬を適正に使用することがこれまで以上に求められています。

塩野義製薬は取り組むべき重要課題（マテリアリティ）として「疼痛からの解放」を特定し、がん疼痛に苦しむ患者さまが、医療用麻薬をより安心して使用できる社会創りを目指しています。従来より取り組んできたがん性疼痛の緩和ケア普及活動に加え、今回の愛知県との協定継続により医療用麻薬の不適切な取り扱いを未然に防ぐ活動に取り組むことで、がんの痛みから患者さまが解放され、医療用麻薬の乱用を起こすことのない社会づくりにより一層貢献してまいります。

以上

<sup>\*1</sup> 2018年5月15日リリース：[「薬物乱用防止」に関する愛知県との事業連携協定の締結について](#)

「薬物乱用防止の啓発事業、医薬品の適正使用の啓発事業」活動実績  
(2018年5月～2020年3月)

(1) 薬物乱用防止啓発活動

- 2018年6月24日 6・26 ヤング街頭キャンペーン (写真・左)
- 2018年7月18日 街頭啓発活動
- 2019年6月23日 6・26 ヤング街頭キャンペーン
- 2019年7月17日 街頭啓発活動

(2) 県民講座

- 2019年10月5日 医療用麻薬を適正に使用するための講習会 (写真・中)  
～医療用麻薬を知って正しく使おう～

(3) 医療従事者対象講演会

- 2018年5月27日 愛知県女性薬剤師会学術講演会 (写真・右)
- 2018年6月27日 Webによる講演会
- 2018年7月25日 愛知県職員薬剤師会学術講演会
- 2019年2月7日 Webによる講演会
- 2020年2月13日 Webによる講演会



[お問合せ先]

塩野義製薬株式会社 広報部

TEL : 06-6209-7885